

# 山口県議会6月定例会

県議会の録画中継は  
下記からご覧になれます  
<http://bit.ly/1dhFZPB>

答弁 村岡知事

## 質問① 山口ゆめ花博について

笠本俊也 一般質問要約

山口ゆめ花博の前売入場券は30万枚を超える販売実績を上げ、開幕に向けて県民の期待と関心は着実に高まっています。今後も魅力あるイベントの企画を進めるとともに、県民ボランティアと連携した取組も重要。花博の魅力を発信し、誘客拡大につなげるため、県内外への情報発信などプロモート活動を一層強化する必要があると考えるが、目標入場者数50万人以上を達成し、花博の成功をより確実なものとするため、どう取り組むか。

答弁 村岡知事

メディアへのプロモート活動を強化するほか、花博をコースに組み入れた旅行商品の造成を促進する。

山口ゆめ花博の開幕まであと1ヵ月余り。会場準備や内容の充実はもちろん、花博の一過性のイベントにとどまることなく、開催後も効果が継続されるものにしていかなければなりません。県民が一休となり、次の取り組みにつながる成功となるよう頑張っています。

## 質問② 公共交通機関におけるキャッシュレス化の推進について

山口ゆめ花博は本県の新たな150年に向けたスタートイベントで、その成果を未来の県づくりにつなげるため、目標50万人を大きく超える方々にご来場いただきたい。現在、国内最大級花壇の整備や一千万の花の植え付けを進めるほか、子どもの育ちを支える公園やシニアの健康寿命を延ばす庭など、次世代の公園利用につながる多彩な会場整備を進めている。

千百ものイベント・体験プログラムを開催・実施するほか、会場運営を支える延べ5千人のボランティアとともに、本県ならではのおもてなしを提供する。誘客の大拡大に向けては、広島・福岡を中心とした公共交通機関の導入はどう取り組むか。

生産性の向上や人手不足の解消に向けてキャッシュレス化が加速していく中、交通系ICカードは、都市部を中心に携帯が当然の状況。本県のJRでは4駅にとどまり、路線バスについても一部の路線のみが対応、新山口駅では利用できない。大交流推進実現に向けて、国内外からのお客や、中山間地域の重要な移動手段の確保という観点からも利便性の向上を図り、利用拡大していくことが喫緊の課題。交通系ICカードの導入はどう取り組むか。

## 中山間地域の財政需要を守るために財源確保について

中山間地域は、過疎法による国庫補助率のかさ上げや地方債の充当措置など各種支援策が講じられてきたが、財政状況は厳しい。中山間地域づくりは、基礎自治体である市町かいかにリーダーシップを発揮して生き残っていくか、にかかっており、地方創生施策の展開など「創る」取組ももちろん大切だが、「守る」財源づくりも必要である。財政基盤が脆弱な中山間地域を有する市町の財源確保の強化に向け、県としてどう対応していくか。

山口ゆめ花博は本県の新たな150年に向けたスタートイベントで、その成果を未来の県づくりにつなげるため、目標50万人を大きく超える方々にご来場いただきたい。現在、国内最大級花壇の整備や一千万の花の植え付けを進めるほか、子どもの育ちを支える公園やシニアの健康寿

命を延ばす庭など、次世代の公園利用につながる多彩な会場整備を進めている。千百ものイベント・体験プログラムを開催・実施するほか、会場運営を支える延べ5千人のボランティアとともに、本県ならではのおもてなしを提供する。誘客の大拡大に向けては、広島・福岡を中心とした公共交通機関の導入はどう取り組むか。

生産性の向上や人手不足の解消に向けてキャッシュレス化が加速していく中、交通系ICカードは、都市部を中心に携帯が当然の状況。本県のJRでは4駅にとどまり、路線バスについても一部の路線のみが対応、新山口駅では利用できない。大交流推進実現に向けて、国内外からのお客や、中山間地域の重要な移動手段の確保という観点からも利便性の向上を図り、利用拡大していくことが喫緊の課題。交通系ICカードの導入はどう取り組むか。

## 中山間地域の財政需要を守るために財源確保について

中山間地域は、過疎法による国庫補助率のかさ上げや地方債の充当措置など各種支援策が講じられてきたが、財政状況は厳しい。中山間地域づくりは、基礎自

治体である市町かいかにリーダーシップを発揮して生き残っていくか、にかかっており、地方創生施策の展開など「創る」取組ももちろん大切だが、「守る」財源づくりも必要である。財政基盤が脆弱な中山間地域を有する市町の財源確保の強化に向け、県としてどう対応していくか。

答弁 北村総合企画部長

答弁 正司観光スポーツ文化部長

中山間地域は、過疎法による国庫補助率のかさ上げや地方債の充当措置など各種支援策が講じられてきたが、財政状況は厳しい。中山間地域づくりは、基礎自

治体である市町かいかにリーダーシップを発揮して生き残っていくか、にかかっており、地方創生施策の展開など「創る」取組ももちろん大切だが、「守る」財源

づくりも必要である。財政基盤が脆弱な中山間地域を有する市町の財源確保の強化に向け、県としてどう対応していくか。

答弁 北村総合企画部長

答弁 正司観光スポーツ文化部長

中山間地域は、過疎法による国庫補助率のかさ上げや地方債の充当措置など各種支援策が講じられてきたが、財政状況は厳しい。中山間地域づくりは、基礎自

</